

避難する時の注意点は？

- 危険を感じたら、明るいうちに早めに避難する。
- 避難の際は、なるべく家族と一緒に行動する。
- 家族が別の場所で被災した場合に備えて、待ち合わせ場所を決めておく。
- 流れる水が、ひざまでくると歩けないので、避難の時は、川やがけには近づかない。
- 濁った水は深さがわからないので、棒や傘などで地面を確かめながら避難する。

避難の余裕がない時の命を守る行動は？

激しい雨が降っている時や夜中など、外へ避難することが危険な時は、自宅の2階以上のがけから遠い部屋か近くの頑丈な建物へ避難しましょう。

わが家の避難マップを作成してみよう！

- ◆ 自宅周辺の災害危険箇所、避難場所・避難経路を確認し、避難マップを書いてみましょう！
作成後は、冷蔵庫など家族全員が目にする場所に貼っておきましょう。

災害の種類	危険箇所	避難場所	避難経路上の危険な場所
土砂災害	<input type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> なし		
洪水	<input type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> なし		
高潮	<input type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> なし		

わが家の避難マップ

● 家族の緊急連絡先

名前	連絡先	電話番号

ハザードマップ、避難場所を知りたい場合は、防災・減災のポータルサイト「はじめの一步」で確認！
防災・減災に関する各種情報も発信しています。詳しくはホームページをご覧ください。

お問い合わせ 広島県危機管理監 減災対策推進担当
〒730-8511 広島市中区基町10番52号
TEL:082-513-2781 FAX:082-227-2122

減災 はじめの一步 検索



広島県「みんなで減災」県民総ぐるみ運動実施中！

「災害死ゼロ」を目指して
減災のキーパーソンはあなたです



広島県防災キャラクター
『タスケ三兄弟』

中学生用

災害から命を守るために！

風水害・土砂災害編

毎年、6月初めころの梅雨入りから秋にかけて、梅雨前線や台風などの影響により多くの雨が降ります。
広島県でもこれまでに、山や急な斜面が崩れる土砂崩れなどの災害が発生しています。大雨がもたらす被害について知り、危険が迫った時には、正しく判断して行動できる力をつけ、災害から大切な命を守りましょう。

◎大雨や強風がもたらす被害

- 【土砂災害】雨により地盤が緩み、がけ崩れや地すべり、土石流が発生し、家などを壊す。
- 【洪水】川の水が溢れだして、私たちが住んでいる住宅や道路が浸水する。
- 【内水氾濫】小川や側溝、地面に溜まった雨水が溢れて、道路や家が浸水する。
- 【高潮】台風や発達した低気圧などに伴う海面の上昇により、沿岸部の道路や家が浸水する。

◎広島県で起こった災害を知ろう！

広島県内の災害の歴史（過去に発生した主な風水害・土砂災害）

年月	要因	災害種別			主な被災地	被害の概要
		土砂	洪水	高潮		
S20. 9	枕崎台風	●	●		呉市 旧大野町 他	死者・行方不明者 2,012名, 家屋全壊 2,127戸, 半壊 3,375戸 他
S26. 10	ルース台風	●	●	●	大竹市 旧佐伯郡 他	死者・行方不明者 166名, 家屋全壊 716戸, 半壊 1,267戸 他
S42. 7	豪雨	●	●		呉市 他	死者 159名, 家屋全壊 514戸, 半壊 605戸 他
S47. 7	豪雨	●	●		三次市 庄原市 他	死者・行方不明者 39名, 家屋全壊 349戸, 半壊 2,171戸 他
S63. 7	豪雨	●	●		旧加計町 他	死者 14名, 家屋全壊 38戸, 半壊 20戸 他
H 3. 9	台風19号	●	●	●	呉市 旧宮島町 他	死者 6名, 家屋全壊 50戸, 半壊 442戸 他
H11. 6	豪雨	●	●		広島市 呉市 他	死者・行方不明者 32名, 家屋全壊 154戸, 半壊 101戸 他
H11. 9	台風18号	●		●	広島市 呉市 他	死者 5名, 家屋全壊 2戸, 半壊 7戸 他
H16. 9	台風18号	●	●	●	広島市 廿日市市 他	死者 5名, 家屋全壊 27戸, 半壊 204戸 他
H18. 9	台風13号	●	●		安芸高田市 北広島町 他	死者・行方不明者 2名, 家屋全壊 4戸, 半壊 6戸 他
H22. 7	豪雨	●	●		庄原市 世羅町 他	死者 5名, 家屋全壊 19戸, 半壊 35戸 他
H26. 8	豪雨	●	●		広島市	死者 77名, 家屋全壊 179戸, 半壊 217戸 他



平成16年9月7日
台風による高潮 [三原市]



平成26年8月6日
洪水 [三原市]



平成26年8月20日
土砂災害（死者77名） [広島市]

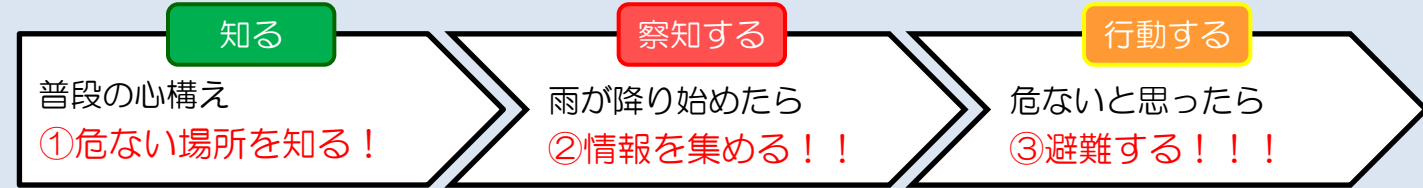
※死者数には災害関連死も含まれています。

◎大雨による災害から命を守るためには

早めの避難を心がける

大雨による災害から命を守るために大切なことは、「**早めに避難すること**」です。いざという時に備えて、「身を守るための3ステップ」を確認しておきましょう。

身を守るための3ステップ



①危ない場所を知る!

身の周りの危ない場所の確認方法は?

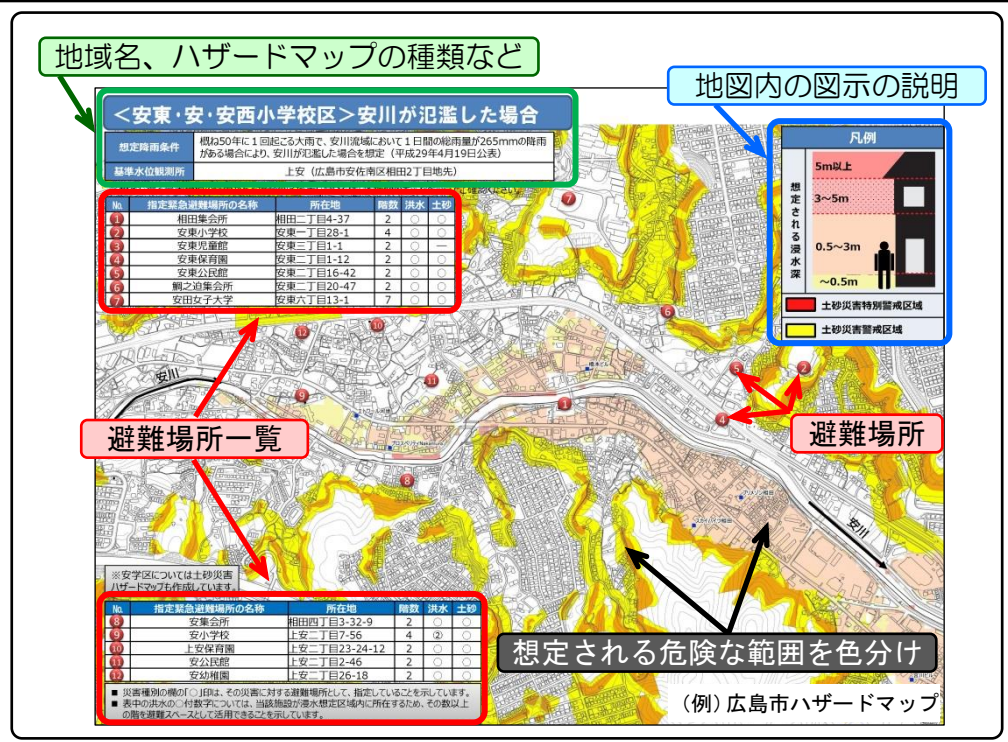
地域のハザードマップを確認しておくことで事前に身の周りの危ない場所を把握することができます。

◆ハザードマップとは◆

ハザードマップとは、土砂災害や洪水、高潮などで、「今後起こりうるかもしれない被害」の予測や避難場所などを、地図上で見えるようにしたものです。

ハザードマップは各市町から各家庭に配布されたり、市町のホームページ等で公開されています。

万一配られたものを無くしてしまった場合は、お住まいの市町の窓口にご相談してみましょう。



《お手元にハザードマップが無い場合は、ポータルサイト「はじめの一步」で確認!》

◆広島県のハザードマップ公表状況◆ (http://www.sabo.pref.hiroshima.lg.jp/hiroshima_hm/)

避難場所を確認し、避難経路も考える。

ハザードマップの確認と合わせて、避難場所の確認もおきましょう。また、「災害が起きたら?」の目線で、避難場所までの経路の安全性を確認しておきましょう。

《最寄りの避難場所が分からない場合は、ポータルサイト「はじめの一步」で検索!》

◆避難所・避難場所検索◆ (<https://www.gensai.pref.hiroshima.jp/search/>)

家族との連絡の取り方も決めておこう!

いざという時のために、どういう方法で家族と連絡をとるか、話し合っておきましょう。

●災害用伝言ダイヤル171

災害時に、「171」番をダイヤルし、安否情報を音声で登録・確認できるサービス

●災害用伝言板(web171)

災害時に、パソコンやスマートフォン等から安否情報(伝言)を文字で登録・確認できるサービス

②情報を集める!!

風水害や土砂災害の多くは、雨がきっかけになって起こります。

気象注意報・警報、雨量などの気象情報や避難に関する情報など各種情報を確認し、災害発生の危険性をいち早く察知することが重要です。

どんな情報を確認すればいいの?

- 天気予報や台風情報などの気象情報
- 大雨、洪水、高潮に関する気象警報・注意報、特別警報の発表状況
- ご自宅周辺の観測局の雨量、河川水位、潮位の情報
- 土砂災害警戒情報、指定河川洪水予報の発表状況
 - ・土砂災害警戒情報: 土砂災害の危険性が一層高まったときに市町単位で発表される情報
 - ・指定河川洪水予報: 対象河川、地区について、水位や雨量などの見通しを示した洪水の予報
- 避難に関する情報の発令状況 など

各種情報の調べ方は?

- テレビやラジオの気象情報から察知する!
 - 各種情報はテレビのデータ放送でも確認できます。
 - (例) NHKデータ放送(dボタン「防災・生活情報」のメニューを選択)
- インターネットから察知する!
 - 各種情報の確認は広島県防災 Web が便利です。(<http://www.bousai.pref.hiroshima.jp/>)
- メールで察知する!
 - 広島県防災情報メール通知サービス (<http://www.bousai-mail.pref.hiroshima.lg.jp/home.jsp>)



防災情報メール登録用

災害発生の前ぶれにも注意!

土石流の前ぶれ

- ・山なりや地鳴り、立木の裂ける音や石のぶつかり合う音がする。
- ・雨が降り続けているのに川の水位が下がる。
- ・川の水が急ににごったり、流木がまざったりする。
- ・異様なにおい(木の腐ったようなにおい、土のにおいなど)がする。

がけ崩れの前ぶれ

- ・がけから水が噴き出す。(しみだす水の量が急に増える。)
- ・がけに亀裂が入ったり、ふくらんだように見えたりする。
- ・がけから小石がパラパラ落ちてくる。

③避難する!!!

明るいうちに早めに避難!

危険を感じたら、明るいうちに早めに避難できるように備えましょう。市町から避難に関する情報が発令された場合や、情報が出ていなくても、自分が危険と判断した場合は、自主的に避難しましょう!



台風などは、地しんとちがっていつ頃くるのか、前もって知ることができるよ!

避難に関する情報

	避難情報の種類	発表の目安	住民のとるべき行動
低 危 険 度 ↓ 高	避難準備・高齢者等避難開始	事態の推移によっては避難勧告、避難指示等をおこなうことが予想される場合。	避難するのに時間のかかる人や、土砂災害警戒区域・土砂災害危険箇所にいる人は、避難を開始しよう。(それ以外の人は、避難の準備を)
	避難勧告	災害の発生する可能性が高まった場合。	通常の避難行動がとれる人も避難を始めよう。
	避難指示(緊急)	状況が悪化し、避難すべき時期が切迫した場合、又は災害が発生し現場に残留者がある場合。	ただちに避難を完了しよう。時間に余裕がないときは、命を守る最低限の行動をとろう。